

要望事項								消費者庁記載					
No.	種・亜種の標準和名 (ここで使用する“標準和名”とは、専門家の間で認知され、図鑑等で使用されている和名を指す。)	左欄に代わる 一般的名称例	学名	備考	団体等からの要望等	水衛協の 提案根拠		改正案の 適否	種・亜種の標準和名 (ここで使用する“標準和名”とは、専門家の間で認知され、図鑑等で使用されている和名を指す。)	左欄に代わる 一般的名称例	学名	備考	消費者庁の見解
1	イイダコ	—	<i>Octopus ocellatus</i>						イイダコ	—	<i>Amphioctopus fangsiao</i>		【学名の変更】 <i>Octopus</i> 属の細分化に伴い、属名が変更された。(<i>Octopus</i> ➡ <i>Amphioctopus</i>) また、日本～台湾・中国大陸沿岸に生息するイイダコ類については <i>Amphioctopus fangsiao</i> が ⁸ 当てられている(小野委員)。
2									イイダコモドキ	イイダコ	<i>Amphioctopus ovulum</i>		イイダコモドキとイイダコは同属であり、種による品質の差は認識されておらず、分布も広範囲に渡り重複していることから、市場において「イイダコ」としてまとめて扱われている。
3									シマダコ	—	<i>Callistoctopus ornatus</i>		沖縄県では水産上、主要な種の一つ(小野委員)。
4	ミズダコ	—	<i>Octopus dofleini</i>						ミズダコ	—	<i>Enteroctopus dofleini</i>		【学名の変更】 <i>Octopus</i> 属の細分化に伴い、属名が変更された(<i>Octopus</i> ➡ <i>Enteroctopus</i>)(小野委員)。
5	マダコ	—	<i>Octopus vulgaris</i>						マダコ	—	<i>Octopus sinensis</i>		【学名の変更】 日本沿岸の個体群に関しては <i>Octopus sinensis</i> と考えられる(小野委員)。
6	テナガダコ	—	<i>Octopus minor</i>						テナガダコ	—	<i>Octopus minor</i>		
7	ヤナギダコ	—	<i>Octopus conispadiceus</i>						ヤナギダコ	—	<i>Octopus conispadiceus</i>		

要望事項								消費者庁記載							
No.	学名	種・亜種の標準和名 (ここで使用する“標準和名”とは、専門家の間で認知され、図鑑等で使用されている和名を指す。)	左欄に代わる一般的名称例	使用できない名称例	備考	水衛協の提案根拠		改正案の適否	学名	種・亜種の標準和名 (ここで使用する“標準和名”とは、専門家の間で認知され、図鑑等で使用されている和名を指す。)	左欄に代わる一般的名称例	使用できない名称例	備考	英名 (参考)	消費者庁の見解
Octopus															
1									Octopus cyanea	ワモンダコ	—	—		—	事業者へのタコの取扱い状況の調査の結果、ワモンダコの取扱いが少なからずあることが明らかとなった。
2									Octopus vulgaris	—	マダコ	—		Common Octopus	本種は長らく、日本在来種であるマダコOctopus sinensisと同種とされており、市場において両種ともに「マダコ」として取り扱われている実態がある。